

(JANOG26 ライトニングトーク)

減価償却長すぎない？

2010.7.8

日本インターネットエクスチェンジ株式会社

a-nakagawa at jpix dot ad dot jp

中川あきら

減価償却って何？

- 一部のオペレーターにはあたりまえの概念
- 一部のオペレーターにはわかっているつもりで解ってない概念。

**本日は技術を忘れて
普段使わない思考回路を
使ってみましょう。**

減価償却の考え方

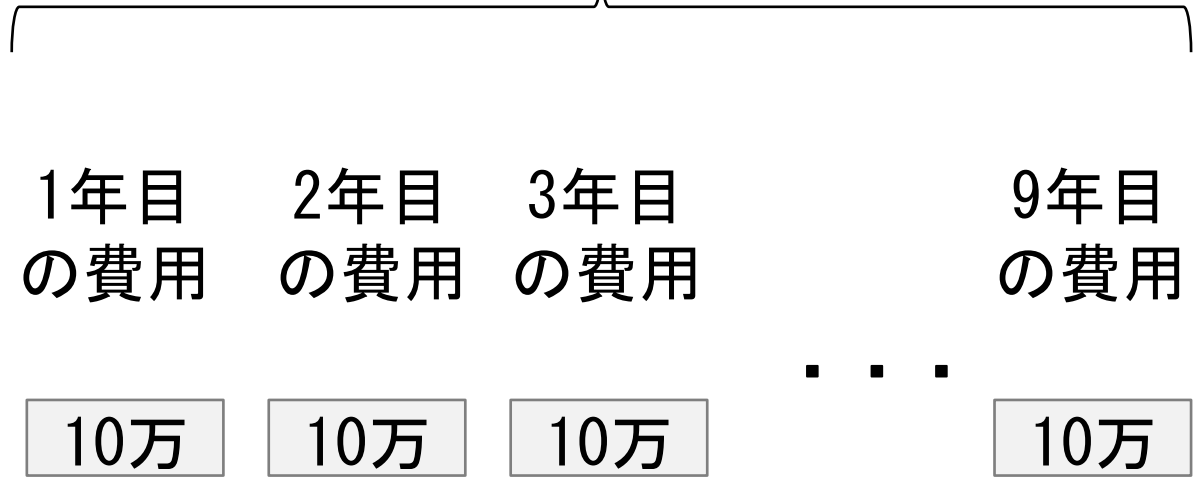
ルータを購入すると、数年間に渡り、分割して費用計上をすることになる。

ルータ
90万円で購入
(現金ベース)



会計上のルール(費用)

(償却期間を9年間・定額法とした**例**)



損益計算書 (PL) への反映

単期 (1年間) の業績を表したものであり
いくら儲かったのかを把握することができる。

損益計算書 (PL)

		収益 (売上高)
—		費用
=		利益 (損失)

• ルータを **90万円** で購入した場合、**10万円** の費用をここに計上

• 9年間にわたり、毎年 **10万円** を計上する。

注) 法定耐用年数を9年間とした。

貸借対照表 (BS) への反映

決算期末における企業の財産の状況を表したもので
資金の調達方法及びどのように使ったかを表す。

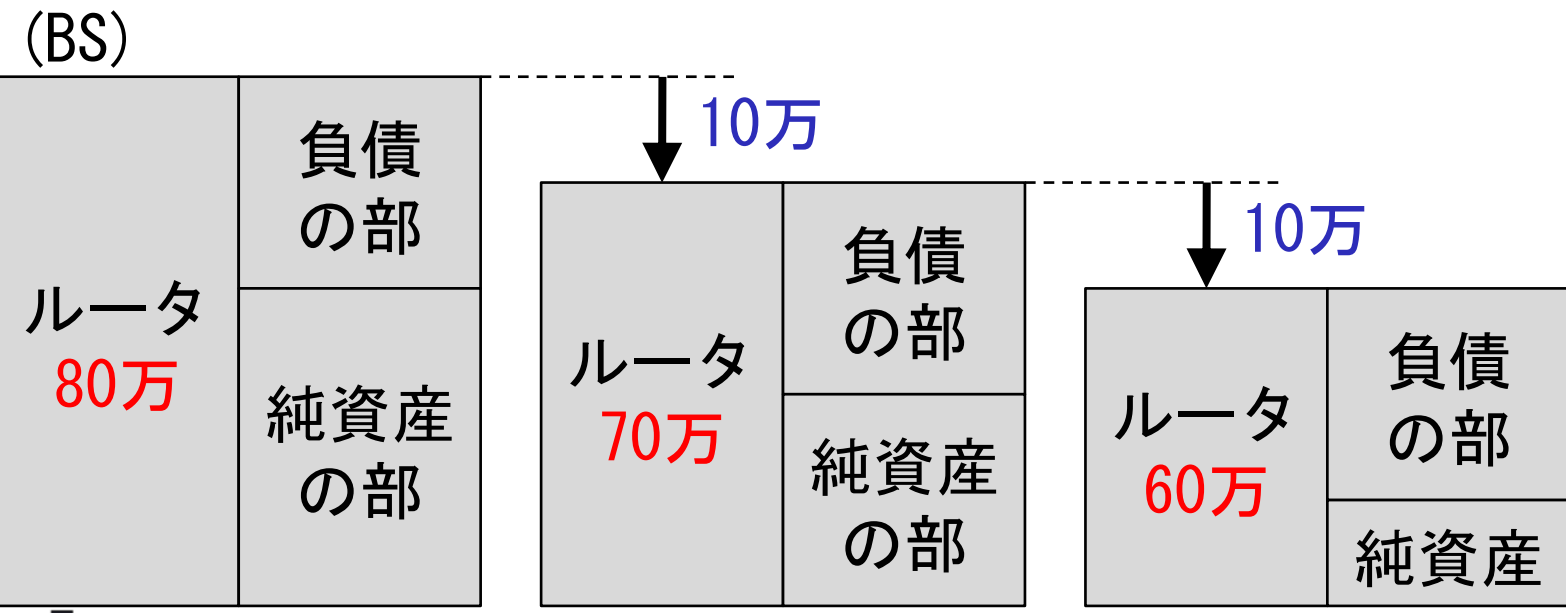
貸借対照表 (BS)

資産の部	負債の部
<p>持っている資産 など</p> <p>ルータ (90万円) スイッチ サーバ etc.</p>	<p>銀行から借りて きたお金 (負債) など</p> <hr/> <p>純資産の部</p> <p>株主から出資された お金 (資本) など</p>

通常の減価償却

償却期間中、毎期PLに費用を計上しBSを小さくなる。

(PL)	1年後	2年後	3年後
収益	X万	収益 Y万	収益 Z万
費用	10万	費用 10万	費用 10万
利益	X-10万	利益 Y-10万	利益 Z-10万



9年間
続く
→

償却終了まで 続けられる？

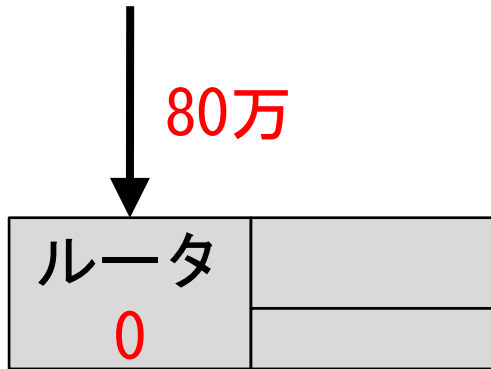
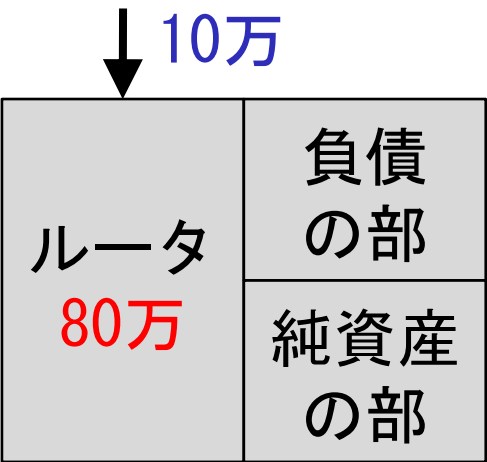
- ◆サポート終了
- ◆処理能力の限界
- ◆新技術の導入

解決策は、除却 or 減損？
ところで 除却って？

除却すると？

一度に多額の費用を計上することになるため、
会計上はルータ購入よりハードルが高い。

去年		今年	
収益	Y万	収益	Z万
費用	10万	費用	
<hr/>		<hr/>	
営業利益	Y-10万	営業利益	Z万
		特別損失	80万
		<hr/>	
		当期純利益	Z-80万



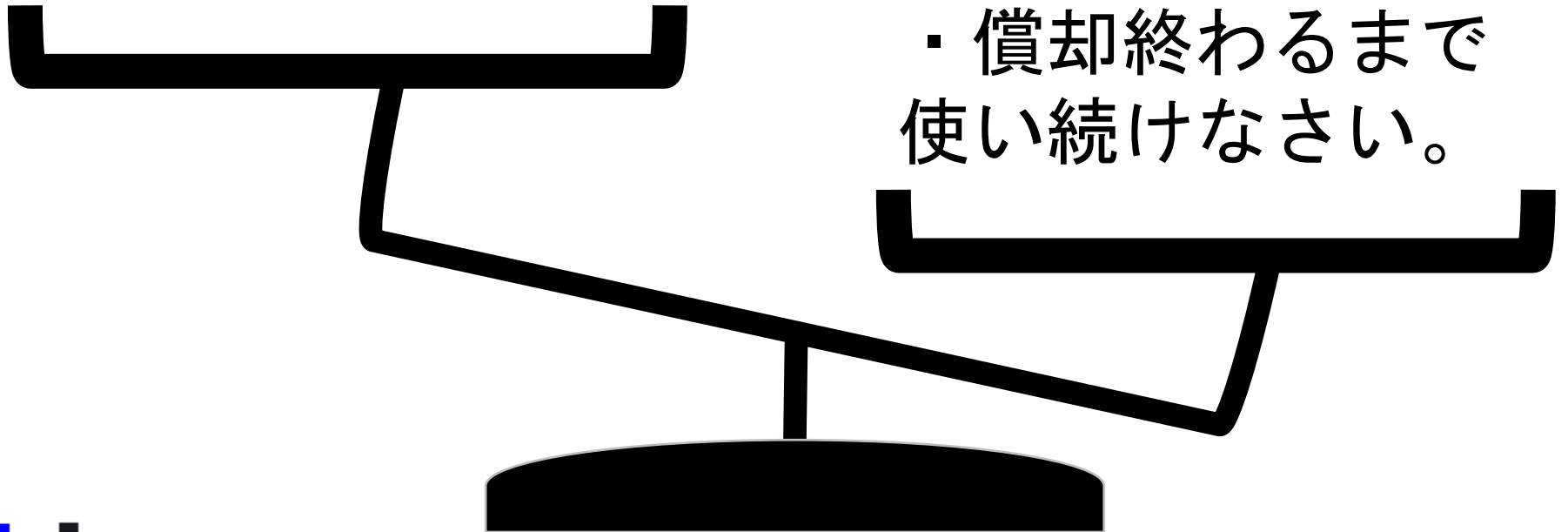
利益に影響！

オペレーター

- このルータのサポートが切れそうです。
- ルータが古くて経路がパンクしそうです。

会社側

- ・ バックボーン用からエンド用に使い回ししなさい。
- ・ 償却終わるまで使い続けなさい。



最近の流行に当てはめると・・・

ローミング等を利用する場合は、自社で設備を持つ必要がないため、減価償却による縛りはない。



ローミングや
クラウド等で
専門事業者に
アウトソース

※ クラウドやローミングは目的ではなく手段の一つ。
事業の目的を見失うべきではない。



Japan Internet Exchange